

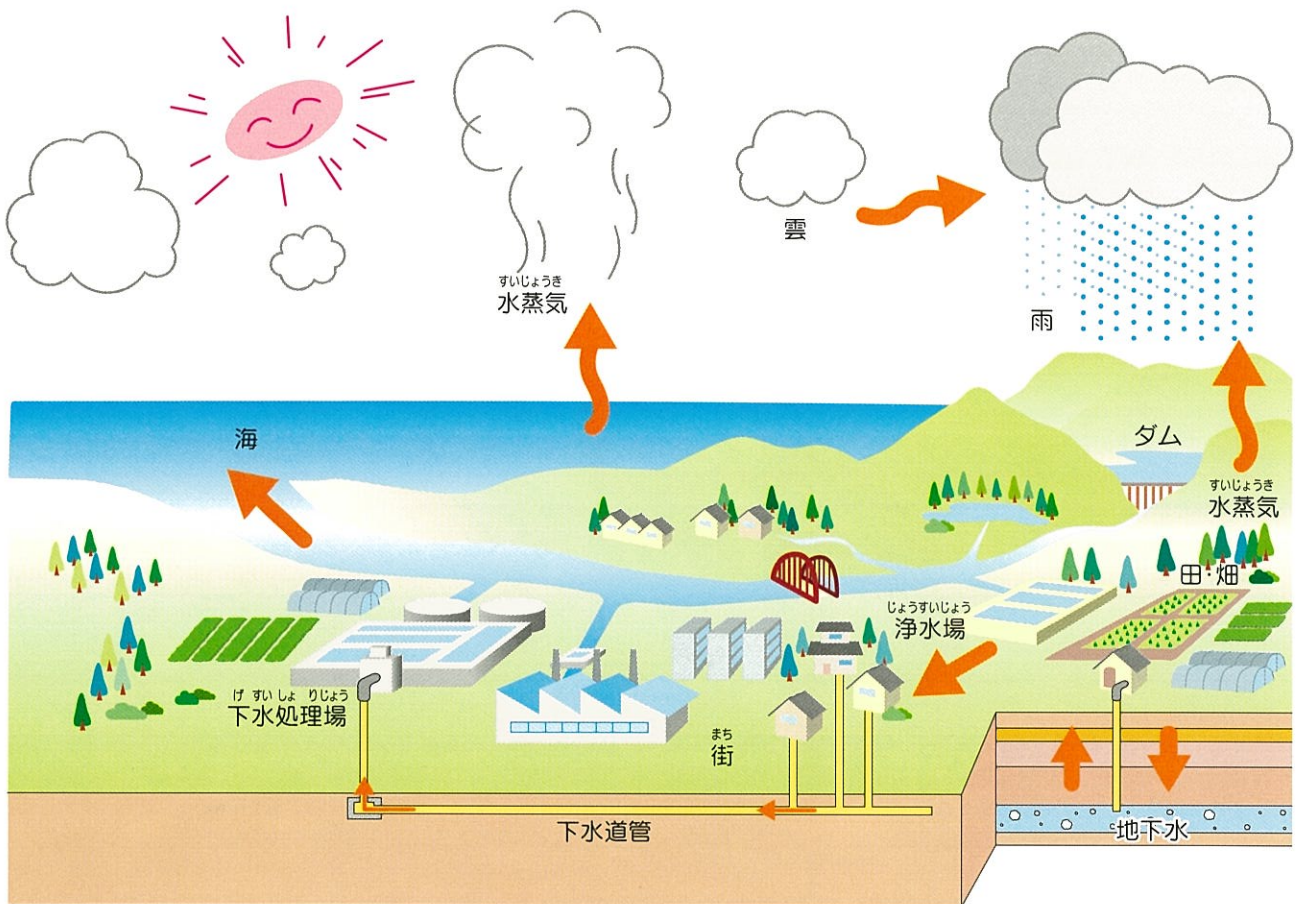
生活排水を考える



きれいな川や海を守るために

富山県

1 水の循環



水は、私たち人間も含め全ての生物にとって欠かせない大事なものです。

地球上に存在する水の97%は海水で、淡水はわずか3%にすぎません。しかしこの淡水も大部分は南極・北極地域の氷であり、私たちが使うことのできる水はわずか0.8%にすぎません。

水は、太陽の熱を受けて、海などから蒸発し、雲になり、雨や雪となって地表に降り注ぎ、地下水や川の流れとなって海に戻り、再び蒸気となって雲になるという「循環」を行っています。

この大きな循環の流れのなかで、地球上のあらゆる生命がはぐくまれています。

2. 川や海が汚れるのは



川や海が汚れる原因としては、工場や畜産などの産業排水によるもののほかに、台所や風呂、トイレなど、日常生活を営む上でだされる排水によるものがあります。

近年、生活水準の向上により水の使用量が増えてきていることなどから、台所や風呂、洗濯、トイレなどからでる生活排水が占める割合が大きくなってきています。

また、市街地を流れる都市河川では、汚れの大半が家庭からの生活排水によるものになっています。

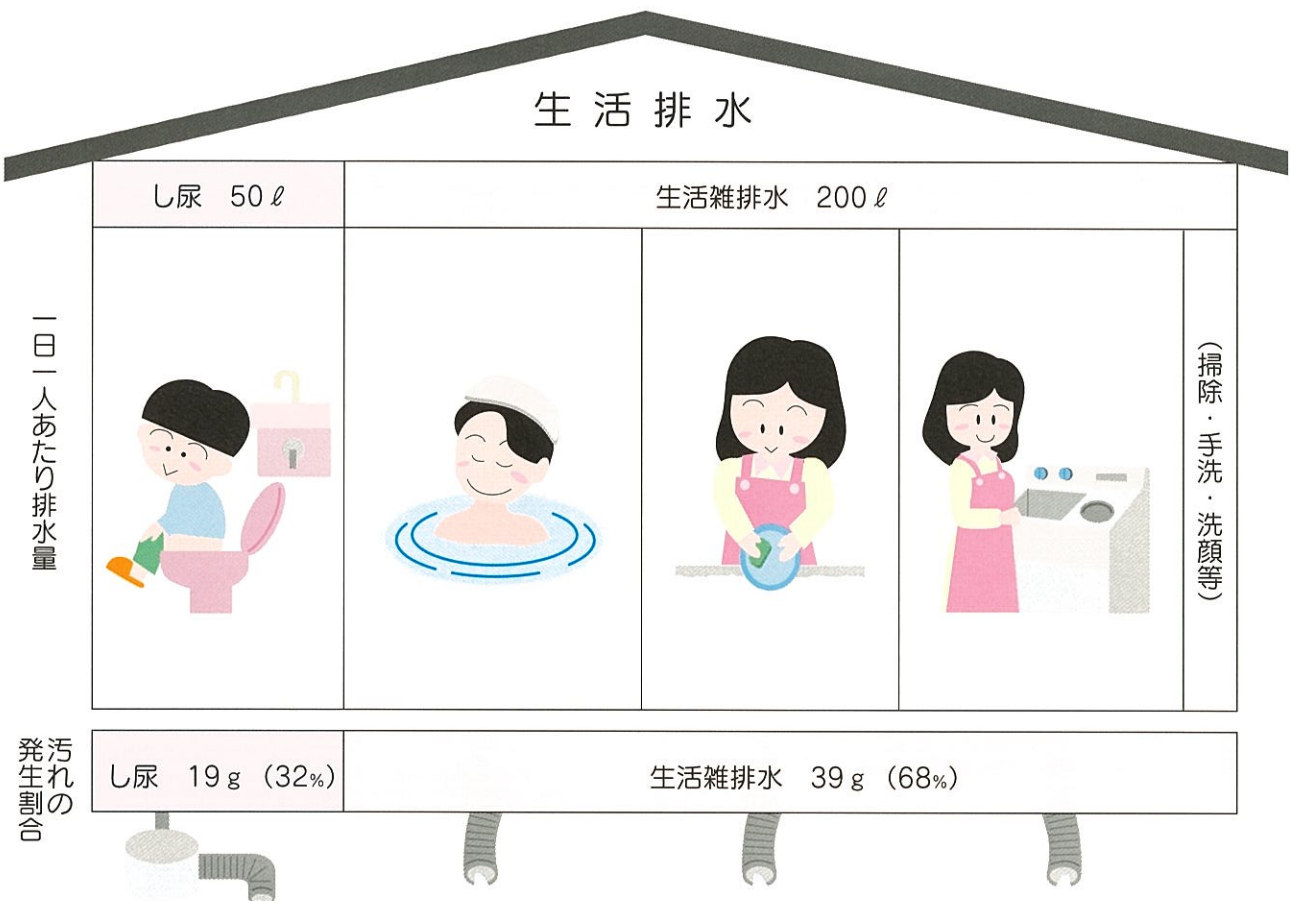
このため、川や海をきれいにするためには、家庭からだされる汚れの量を減らしていくことが大切になります。

3 生活排水とは

生活排水とは、私達が日常生活を営む上で使われる排水のことで、大きく分けると、台所、風呂、洗濯によって出る生活雑排水とトイレから出る排水を合わせたものです。

私たちが、台所、風呂、洗濯、トイレなどで使用し、川や海に流している水は、一日一人あたり約250ℓといわれています。

これら日常生活に伴って発生する汚れの量は、一日一人あたり約58gになり、このうち68%が生活雑排水によるもので、残りがトイレによるものです。



生活排水と言われるもののうち、トイレから出る排水については、浄化槽やし尿処理場、下水道などによって処理されています。

これに対し、生活雑排水については、トイレの排水と併せて処理をする、合併処理浄化槽や下水道で処理しているほかは、そのまま川や海に流しているのが現状です。

生活排水による汚れの量は個々の家庭では小さな量かもしれませんが、川や海に流入する総量で見ると大きな量になります。

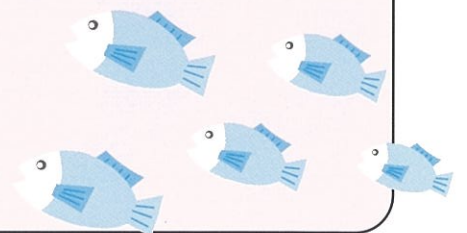
主な食品の汚れの程度

食 品	みそ汁	ラーメンの汁	米のとぎ汁
			
	汚れの程度 BOD (mg/ℓ)	26,000	20,000
魚がすすめるようにするのに必要な水の量	お碗1杯 (200ml) 流すと風呂おけ (300ℓ) 約3.5杯分	どんぶりの残り汁 (300ml) 流すと風呂おけ約4杯分	米のとぎ汁 (2ℓ) 流すと風呂おけ約4杯分
食 品	牛 乳	日本酒	天ぷら油
			
	汚れの程度 BOD (mg/ℓ)	78,000	200,000
魚がすすめるようにするのに必要な水の量	コップ1杯 (200ml) 流すと風呂おけ約10杯分	おちょこ1杯 (20ml) 流すと風呂おけ約3杯分	使用済み天ぷら油、天ぷら1回分 (500ml) 流すと風呂おけ約330杯分

BODとは

BODは生物化学的酸素要求量ともいい、微生物が水のなかの汚れを分解するときに使われる酸素の量で、汚れの度合いを表すものです。数字が大きいくほど汚れていることを示します。ちなみに魚がすすめるBOD濃度は5mg/ℓといわれています。

私たちが快適にすすめる水質は
(BOD) 5mg/ℓ程度なんだよ。
だから、汚れのもとになるものは
流さないでね。



4 家庭でできる浄化対策

川や海が汚れる原因である生活排水による汚れの量は、私たちのちょっとした工夫と努力により大きく改善することができます。個々の家庭で汚れたものを流さないようにすることで、川や海に流れ込む汚れの量を少しでも減らすことが大切です。

台所での対策

台所で調理する際にでる米のとぎ汁、野菜くずなどや、食後の後かたづけの際にでる食べ物のかす、食器に付着した油分などは、そのまま流すと川や海を汚す原因になります。

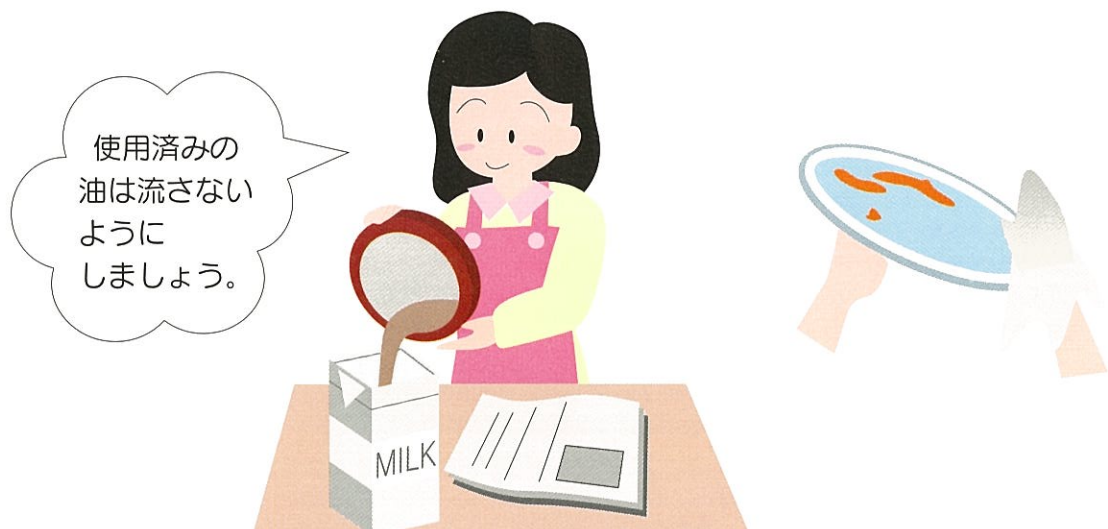
●調理くずなどの適正な処理

三角コーナーやストレーナーにごみ取り用のネット（クリーンネット）を付けて、調理くずや食べ物のかすを排水と一緒に流さないようにしましょう。



●廃食用油の適正な処理

使用済みの天ぷら油は、古新聞などにしみ込ませるか、固めるなどして、排水中に流さないようにしましょう。また、食器の汚れはふき取ってから洗いましょう。

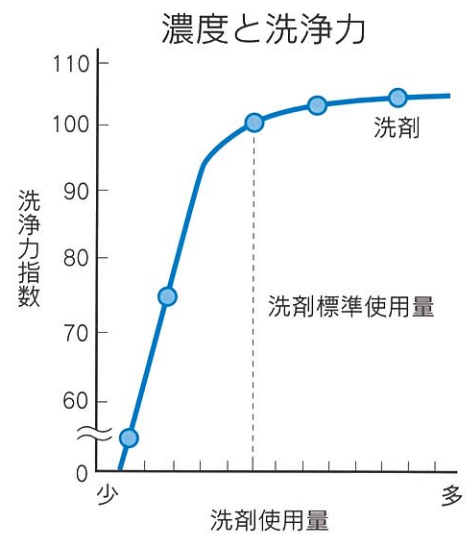


洗濯や入浴時の対策

私たちは、暮らしのなかで、いろいろな洗剤を使っていますが、洗剤も川や海を汚す原因になります。また、お風呂からの水も汚れの原因になります。

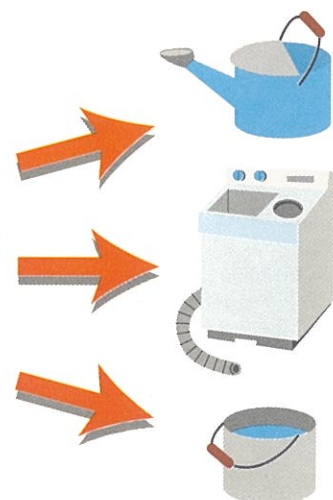
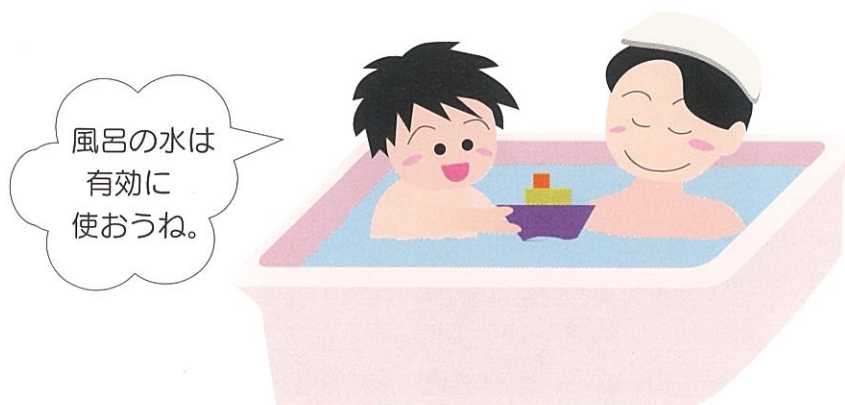
●洗剤の適正使用

洗剤は、計量カップで計って、適量だけ使うようにしましょう。適量以上の洗剤を使用しても洗浄力はよくなりません。大部分が無駄になり、川や海を汚す原因になります。



●風呂の残り湯の有効利用

風呂の残り湯も川や海の汚れの原因になります。残り湯を洗濯やまき水などに再利用するように心がけましょう。節水にもなります。



浄化槽対策

浄化槽は微生物の働きにより、汚れた水をきれいにしてくれます。しかし、きちんと維持管理をしないと、微生物が死んでしまうことなどから、浄化能力が悪くなり、川や海を汚す原因になります。

●浄化槽の正しい維持管理

トイレの掃除には、薬品を使用しないようにしましょう。また、絶対にポンプのスイッチを切らないでください。微生物が死ぬ原因になります。

専門業者に委託して、定期的に浄化槽の保守点検、清掃をしましょう。



その他の対策

家庭の中だけでなく、外においてもできることがあります。身近な水辺である川や海が私たちの憩いの場となるように、次のことに心がけましょう。

●県土美化の推進

ドライブや行楽地に出したごみは持ち帰りましょう。

また、川や海辺のごみをみんなで拾い集めましょう。

●側溝・排水路の清掃

側溝や排水路に汚泥がたまると、「カ・ハエ」や悪臭の発生場所になります。定期的に清掃するように心がけましょう。



富山県生活環境部環境保全課
富山市新総曲輪1-7